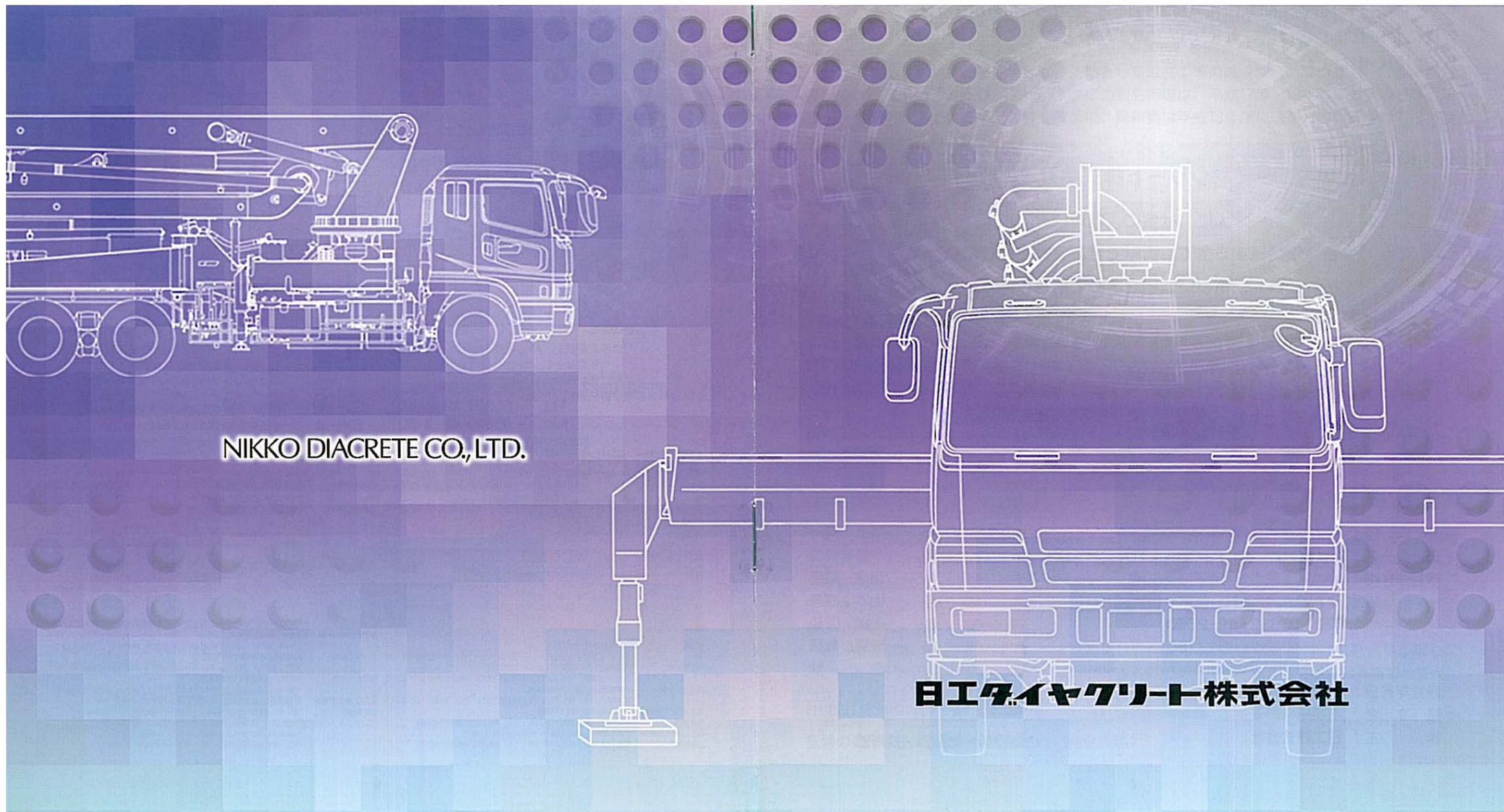


第一期 報告書

平成18年8月8日～平成19年3月31日



NIKKO DIACRETE CO., LTD.

日工ダイヤクリート株式会社

(平成18年8月8日～平成19年3月31日)

皆様、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より日工ダイヤクリート株式会社に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
この度、設立第一期のご報告をさせて戴くことができますのも、ひとえに皆様の
暖かいご支援の賜でございます。
今年は、三菱重工業株式会社から承継しましたダイヤクリートを更に生成発展させる
べく、中期三ヶ年計画「NDC PLAN35」に一丸となって取り組む所存でございます。
皆様におかれましては、これまで以上のご理解とご支援を頂戴したく、何卒、宜
しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 川上 晃一

日工ダイヤクリート株式会社 基本理念

人に、社会に、環境に、
我々が関係する全てに貢献できる会社になりたい。
そして、新しい価値を求めて前進します。

日工ダイヤクリート株式会社は、
三菱重工業株式会社からダイヤクリートを承継し、
コンクリートポンプのメーカーとして新しく出発致しました。

● 会社概要

商 号：日工ダイヤクリート株式会社
英 文 名：NIKKO DIACRETE CO., LTD.
本社所在地：山口県下関市長府扇町8番33号
〒752-0927
TEL (0832) 49-2650
FAX (0832) 48-3160
HP <http://www.diacrete.co.jp/>
設立年月日：平成18年8月8日
資 本 金：4億円
株 主：日工株式会社

● 役 員 (平成19年6月1日現在)

代表取締役社長	川上 晃一
取締役副社長	宇都宮良二
取 締 役	深津 隆彦
取 締 役	山本 秀彦
取 締 役	上田 芳弘
取 締 役	野島 龍彦
監 査 役	秦 勉

● 組 織 (平成19年6月1日現在)

総務部・営業部・技術部

>>> 当期の経過及びその成果

当期のわが国経済は、米国経済の減速、原油価格高止まり等懸念材料があったものの、企業
の業績回復を背景に民間設備投資や個人消費が堅調に推移し、全般的に回復基調が続きました。

当社は平成18年8月8日 三菱重工業株式会社 下関造船所よりコンクリートポンプ等の事業を
譲り受けるため、株式会社エヌ・ディー・シーとして山口県下関市に設立され、事業譲り受け
期日である平成18年10月1日、日工ダイヤクリート株式会社と商号を変更し、コンクリートポ
ンプ車、及びコンクリート圧送技術を応用した泥土圧送装置等の設計・製造・販売・メンテナ
ンス、並びに部品販売を主な事業として正式に事業活動を開始致しました。

当社に關係の深い建設関連業界は、依然として公共工事の減少が続いている等、厳しい経営
環境にありますが、コンクリートポンプ車の販売市場は、平成17年・19年の排ガス規制等の法
改正、及び老朽化による更新需要を背景に、総需要は平成13年度に底を打ち、緩やかではあり
ますが回復基調にあります。

このような中、当社は「人に、社会に、環境に、我々が関係する全てに貢献できる会社にな
りたい。そして、新しい価値を求めて前進します。」を基本理
念に掲げ、製品開発のみならず、従前には三菱重工業株式会社
にて行っていた購入品・加工部品の調達業務、外注部品加工・
コンクリートポンプ車の外注組立の手配業務等、事業譲り受け
に伴う業務承継を実施しつつ、当社顧客並びに指定サービス店
への訪問挨拶等、関係継続に努めました。

当社の経営成績は以下のとおりです。

売上高につきましては、一部中古車を含む製品販売3億34百
万円と部品販売3億990万円により6億433万円となりました。

損益面につきましては、営業利益31百万円に、三菱重工業株
式会社より受託している債権管理業務等の営業外収益を加えた
経常利益は37百万円となり、法人税等を差し引きました当期純
利益は18百万円となりました。



>>> 今後の課題と次期の見通し

当社の事業領域である建設機械事業は、海外市場では、中国をはじめとした東南アジア市場
でのインフラ整備投資の持続的拡大が予想されますが、当社の主たる市場である国内は、排ガ
ス規制等の法規制による更新需要は見込まれるものの、インフラ整備が成熟段階を迎え、加えて、
国や地方自治体の財政赤字による公共投資削減、民間の建設投資抑制により、需要の拡大には
至らないものと予想されます。

このような環境下、業績進展をはかるためには、何よりも、三菱重工業株式会社より承継した
高い技術力と製品開発力を生かした、顧客満足度の高い製品・サービスの提供、海外事業の拡大、
コスト低減による競争力・収益力の強化が不可欠です。

当社は、第二期より「中期三ヶ年(第2期～第4期)計画～NDC PLAN35」を実行し、経営
基盤の強化と企業価値の増大に努めて参ります。

(平成19年4月1日～平成22年3月)

>>>基本方針

平成21年度に、シェア35% 売上高30億円の達成を目指して全力を尽くす。
 そのために、次の3点を揺るぎなきものとして徹底推進する。

1. メーカーであること

- ・新シャーシへの早期対応
- ・加工品のグループ内製化による顧客満足度（品質・納期）の向上
- ・新機能（高圧化・長尺化）搭載モデルの開発・発売

2. 親派を大切にすること

- ・企業の信頼性（製品・スピード・クレーム対応）向上
- ・親派ユーザ・指定サービス工場への訪問頻度の向上
 （定期的・安定的な活動）

3. 皆で前進すること

- ・親派ユーザ・指定サービス工場・調達先と相互理解をはかり関係強化に努める
- ・総務・営業・技術部門一体となった相互フォローの促進と、そのための情報一元化
- ・経営情報の共有化

>>>施 策

●技術開発

新短期・新長期排気ガス規制への対応と共に、高圧・超高圧対応のコンクリートポンプ車、省力化のための長尺ブーム車、省人化のためのディストリビュータ・ブレーシングブーム機等の開発により、製品ラインナップの拡充を目指します。

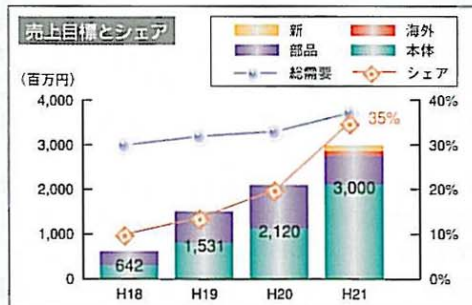
加えて、成長著しい中国をはじめとする東南アジア・ロシア等への技術供与・コンポーネント販売を目指します。
 また、クレーム削減に努め、顧客満足度の高い製品開発に生かして参ります。

●アフターサービス

調達機能を強化し全国の指定サービス工場への部品供給リードタイムの短縮を目指すとともに、日工グループのサービス体制を活用した、新しいアフターサービスの構築を通じて質の向上をはかります。

また、法令遵守が企業に強く求められる中、経営陣が自ら先頭に立ち、リコール問題等の重大トラブルにも適切に対応して参ります。

>>>数値目標



第一期 貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部	1,319,869,793	負 債 の 部	901,394,834
流 動 資 産	1,068,605,861	流 動 負 債	897,478,834
現 金 及 び 預 金	276,361,839	買 掛 金	508,331,537
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	467,151,356	未 払 金	332,316,516
棚 卸 資 産	303,156,321	そ の 他	56,830,781
繰 延 税 金 資 産	3,536,205		
そ の 他	22,127,339		
貸 倒 引 当 金	△3,727,199		
固 定 資 産	251,263,932	固 定 負 債	3,916,000
有 形 固 定 資 産	35,543,919	退 職 給 付 引 当 金	871,000
建 物 及 び 構 築 物	12,028,349	そ の 他	3,045,000
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	23,515,570	純 資 産 の 部	418,474,959
無 形 固 定 資 産	209,566,840	資 本 金	400,000,000
投 資 そ の 他 資 産	6,153,173	利 益 剰 余 金	18,474,959
資 産 合 計	1,319,869,793	負 債 ・ 純 資 産 合 計	1,319,869,793

●生産力

高い機能と優れた品質を短納期で提供するため、購入品・部品加工からポンプ車組立までの一連の手配組織の強化とシステム化を更に推進し、品質管理・納期管理の徹底に努めます。

また、NDC PLAN35の実現に見合う生産力を備えるべく、日工グループでの主要部品の生産・組立を推進します。

●人材育成

当社社員の多くは三菱重工業株式会社からの経験豊富な退職派遣者が占めており、事業の拡大には、その高い技術力と知識・経験を生かしながら、後継者の育成に努めなければなりません。

そのために、計画的かつ継続的な採用活動と育成に注力致します。

コンクリートポンプ車、各種圧送装置
設計・製造・販売・メンテナンス・部品販売

コンクリートポンプ車



DC-L1100BD-M33

高強度コンクリート圧送。
フロントアウトリガー張幅を
現場のスペースに対応させることで、
狭い現場でも大活躍します。

高い実績と信頼性を誇る
ダイヤクリートバルブ

ホッパ洗浄システムの採用で
残コンクリートの排出を
極限まで低減しました。



ダイヤクリートバルブ
(開口状態)

マックバルブ
首配合の打設に強い
マックバルブもラインナップ

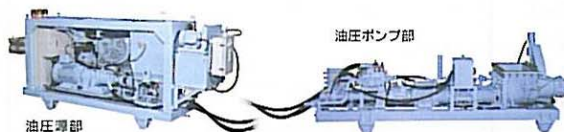


DC-SL1100BD-M26

前方弓形、後方横開きの
アウトリガーを採用。
クラス最小の張り出し幅で
クラス最大の設置面積を実現しました。

シールド排土圧送装置

粘性土から砂・砂礫まで高効率圧送。
低騒音型油圧システムで良好な作業環境が保てます。



ディストリビュータ・ブレーシングブーム

コンクリート打設の先端作業省力化と
重労働からの解放を実現しました。



軟弱土圧送装置

浚渫軟弱土を加水することなく、大容量・長距離
圧送します。



本 社

〒752-0927 山口県下関市長府扇町8番33号
TEL (0832) 49-2650
FAX (0832) 48-3160

HP <http://www.diacrete.co.jp>
Eメール diacrete@diacrete.co.jp

●販売センター・部品センター一覧

東北・北海道 販売センター	宮城県仙台市青葉区中央4丁目10番14号 エノトセーフビル3F 〒980-0021 TEL (022)213-7155(代) FAX (022)266-2604	関 東 販売センター	東京都千代田区船橋本町2丁目11-2 イトーピア岩本町2丁目ビル3F 〒101-0032 TEL (03)5823-8109(代) FAX (03)5823-8112
関 東 部品センター	神奈川県横浜市金沢区福洲2丁目18番6号 〒236-0004 TEL (045)786-8711(代) FAX (045)784-8233	下 関 部品センター	山口県下関市長府扇町8番33号 〒752-0927 TEL (0832)49-2650(代) FAX (0832)-48-3160

●日工株式会社

明 石 本 社	兵庫県明石市大久保町江井島1013番地の1 〒674-8585 TEL (078)947-3131(代) FAX (078)947-3638	東 京 本 社	東京都千代田区船橋本町2丁目11-2 イトーピア岩本町2丁目ビル3F 〒101-0032 TEL (03)5823-8101(代) FAX (03)5823-8111
大 阪 支 社	大阪府東淀川区中島1丁目19番4号 新大坂東口ビル9F 〒533-0033 TEL (06)6323-0561(代) FAX (06)6326-0320		

●日工グループ

日工電子工業㈱	京都府長岡京市神足橋6番地 〒617-0833 TEL (075)954-5101(代) FAX (075)954-5138	日工マシナリー㈱	千葉県野田市上三ヶ尾259番地 〒278-0013 TEL (04)7125-1311(代) FAX (04)7125-1314
日工興産㈱	兵庫県明石市大久保町江井島1013番地の2 〒674-0054 TEL (078)947-5340(代) FAX (078)947-5308	トンボ工業㈱	兵庫県明石市扇町3丁目12番51号 〒673-0028 TEL (078)923-6395(代) FAX (078)923-7839
日工セック㈱	千葉県野田市上三ヶ尾259番地 〒278-0013 TEL (04)7125-8301(代) FAX (04)7125-8371	日都オーク㈱	宮崎県宮崎市吉良町785番地1 〒885-0006 TEL (0985)38-5335(代) FAX (0986)38-0600
日工(上海)工程機械 有限公司	上海市嘉定区南翔鎮1156号 TEL: 86-(0)21-6916-9315 FAX: 86-(0)21-6916-9762	日工(上海)工程機械 有限公司	北京市朝陽区慶春里路5号 永安青島3516商務 TEL: 86-(0)10-6591-4997 FAX: 86-(0)10-6591-4998
日工(上海)工程機械 上海事務所	上海市真光路漢口路398号 華盛大廈1501A室 TEL: 86-(0)21-6361-0618 FAX: 86-(0)21-6361-0586	日工(タイランド)㈱	Room 119, 11 Floor, Thai CC Tower B99 South Satrom Road, Yannawa, Sathorn, Bangkok 10120 Thailand TEL: 66-(0)2672-3884-6 FAX: 66-(0)2672-3887